



2026年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年8月4日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 安藤 宏基
(氏名) 矢野 崇

TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	177,031	△4.3	17,357	△25.5	15,844	△27.5	16,609	△27.5	11,219	△29.3
2025年3月期第1四半期	185,036	11.2	23,312	5.1	21,856	4.7	22,924	4.4	15,873	13.1

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2026年3月期第1四半期	38.37		38.11	
2025年3月期第1四半期	52.46		52.13	

当社は、2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2026年3月期第1四半期	859,241		502,984		467,764		54.4	
2025年3月期	848,461		511,901		475,528		56.0	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	810,000	4.3	83,600	0.1	75,600 ～79,600	1.7 ～7.0	53,000 ～56,000	△3.7 ～1.8	円 180 ～191

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	297,584,500 株	2025年3月期	302,584,500 株
2026年3月期1Q	6,676,916 株	2025年3月期	8,749,072 株
2026年3月期1Q	292,385,652 株	2025年3月期1Q	302,574,643 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比4.3%減の1,770億31百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益（注1）は前年同期比25.5%減の173億57百万円、営業利益は前年同期比27.5%減の158億44百万円、税引前四半期利益は前年同期比27.5%減の166億9百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比29.3%減の112億19百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比1.0%減の1,831億26百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比24.3%減の176億54百万円となりました。（注2）

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

（注1）既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

（注2）2026年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	対前年同期	
	自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	自 2025年4月1日 至 2025年6月30日	金額	%
売上収益	185,036	177,031	△8,004	△4.3
既存事業コア営業利益	23,312	17,357	△5,954	△25.5
営業利益	21,856	15,844	△6,011	△27.5
税引前四半期利益	22,924	16,609	△6,314	△27.5
親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,873	11,219	△4,654	△29.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントごとの業績を適切に反映させるため、グループ関連費用の配賦方法を変更しております。前連結会計年度との比較に当たっては、変更後の算定方法により比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類では、2025年6月発売の「だし仕込 カップヌードル」等の新製品や「日清のあっさりおだしがおいしいどん兵衛」「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズが売上に貢献しました。袋めん類では、「チキンラーメン」、「出前一丁」、「日清焼そば」の売上が堅調に推移しましたが、カップめん、袋めんともに前年同期比では減収となりました。カップライス類は、2025年4月発売の「ほりにし監修 オリジナルスパイス付き ガーリック飯」や2025年5月発売の「日清ミラノ風ドリアメシ」等の新製品が売上に大きく貢献し順調に推移しています。利益面では、原材料価格や物流費の上昇等により減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比0.8%減の529億40百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比8.9%減の75億85百万円、営業利益は、前年同期比9.4%減の75億66百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。暑い夏が長期間にわたることを想定し、明星食品の強みである「汁なし麺」の販売拡大を図るマーケティング戦略が奏功しました。カップめん類では、主力の「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズの好調に加え、「明星 ぶぶか油そば」の高成長が寄与しました。袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが、2025年3月に新発売した「明星 チャルメラ 油そば」の貢献もあり、好調に推移しました。

利益面では、原材料価格の上昇等がありましたが、増収効果により、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比8.2%増の116億35百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比27.5%増の12億95百万円、営業利益は、前年同期比25.8%増の13億16百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、「麺の達人」、「スープの達人」等のラーメン群が好調に推移したことに加え、CVS（コンビニエンスストア）向け調理めんも貢献し、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料費の上昇等によるコストアップがありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類では「冷凍 日清中華 辣椒担々麺」、「冷凍 日清中華 汁なし担々麺 大盛り」が好調に推移し、パスタ類では新商品「冷凍 日清スパ王喫茶店」の貢献や、価格改定効果もあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料価格等のコストアップ要因があり前年同期比で減益となりました。

飲料事業は、新商品「ピルクル ひざアクティブ」が好調に推移したものの、睡眠ブームがピークアウトする中、「ピルクル ミラクルケア」シリーズが前年同期比で減収となり、また、CVSでの売上が低調に推移しました。その結果、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比2.7%増の261億54百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比5.0%減の27億23百万円、営業利益は、前年同期比6.0%減の27億28百万円となりました。

④菓子事業

(株)湖池屋は「ムーチョ」シリーズや「スコーン」シリーズ等の主力商品の販売が拡大し、昨年下半年に定番化した「湖池屋ファーム」も売上に貢献しましたが、製造原価の増加により前年同期比で増収減益となりました。日清スシ(株)は「ごろグラ」や「シスコーン」シリーズといったシリアルが堅調に推移、マーケティング費用等の効率的な使用により、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち(株)は65周年を迎えた「ぼんち揚」を中心に大阪・関西万博のコラボ商品等の販売が好調に推移しましたが、原材料の高騰や物流費の増加等の影響により前年同期比で増収減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比2.9%増の237億43百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比12.8%減の16億12百万円、営業利益は、前年同期比10.7%減の14億14百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた高付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでいます。

ブラジルでは前連結会計年度に実施した価格改定に加え、「CUP NOODLES」の販売数量増加もあり売上は堅調に推移しております。しかしながら為替影響や米国における一部流通の販売数量減少により、セグメント全体で減収となりました。

利益については、米国での販売数量減少やブラジルにおける原材料価格の高騰に伴い、セグメント全体で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比20.5%減の333億80百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比58.0%減の22億29百万円、営業利益は、前年同期比57.4%減の22億59百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比10.0%減の377億92百万円となり、コア営業利益は、前年同期比52.7%減の25億10百万円となりました。（注4）

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大や中国版カップヌードル「合味道」ブランド及び高価格帯袋めんの販売拡大に取り組み、さらに冷凍食品や菓子などのマルチカテゴリー化、卸売ビジネスの拡大を進めています。中国大陆では、内陸部への販路拡大によりカップヌードル「合味道BIG」や「出前一丁」を中心に販売が伸長しました。香港では、市民の消費行動の変化があったものの、「出前一丁」等の袋めんの販売は堅調に推移しました。また、その他地域における即席めんの販売も販路拡大に伴い伸長しました。加えて、昨年度買収した韓国の菓子事業会社や豪州の冷凍食品会社も業績に寄与しました。

こうした状況の下、売上収益は増収となりました。利益については、増収によって、売上原価や販促コスト増加の影響を吸収し現地通貨ベースでは増益となりましたが、為替影響により円換算では前年同期比で若干減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比1.4%増の166億89百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比4.9%減の12億71百万円、営業利益は、前年同期比1.5%減の13億11百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比9.2%増の179億68百万円となり、コア営業利益は、前年同期比2.4%増の13億68百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比10.5%減の124億87百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比33.5%減の26億33百万円、営業利益は、前年同期比34.3%減の25億94百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比7.6%減の128億90百万円となり、コア営業利益は、前年同期比35.6%減の25億51百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2026年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ107億79百万円増加し、8,592億41百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に営業債権及びその他の債権が113億6百万円減少した一方、現金及び現金同等物が92億1百万円、有形固定資産が92億58百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ196億96百万円増加し、3,562億56百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務が119億46百万円、流動負債の借入金が40億88百万円、その他の流動負債が43億45百万円減少した一方、コマーシャル・ペーパーが400億円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ89億17百万円減少し、5,029億84百万円となりました。これは主に自己株式が85億67百万円減少（資本は増加）した一方、利益剰余金が163億89百万円減少したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の56.0%から54.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、822億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億1百万円の増加となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は132億44百万円（前年同期比115億63百万円の資金の増加）となりました。これは主に税引前四半期利益が166億9百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は185億14百万円（前年同期比9億41百万円の資金の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が207億34百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は135億50百万円（前年同期比182億20百万円の資金の増加）となりました。これは主に配当金の支払額が102億84百万円、自己株式の取得による支出が90億45百万円となった一方、コマーシャル・ペーパーの純増減額が400億円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	73,036	82,237
営業債権及びその他の債権	115,072	103,765
棚卸資産	70,536	74,010
未収法人所得税	465	359
その他の金融資産	16,259	13,993
その他の流動資産	12,973	12,892
流動資産合計	288,343	287,259
非流動資産		
有形固定資産	351,790	361,049
のれん及び無形資産	19,245	19,272
投資不動産	7,392	7,449
持分法で会計処理されている投資	112,514	112,272
その他の金融資産	53,773	56,994
繰延税金資産	14,278	14,040
その他の非流動資産	1,122	903
非流動資産合計	560,118	571,981
資産合計	848,461	859,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	144,703	132,757
借入金	38,039	33,951
コマーシャル・ペーパー	—	40,000
引当金	—	141
未払法人所得税	5,667	5,713
その他の金融負債	4,528	4,353
その他の流動負債	26,655	22,309
流動負債合計	219,593	239,225
非流動負債		
社債及び借入金	77,520	76,880
その他の金融負債	16,007	15,906
退職給付に係る負債	5,425	5,312
引当金	341	202
繰延税金負債	14,892	15,934
その他の非流動負債	2,777	2,793
非流動負債合計	116,965	117,030
負債合計	336,559	356,256
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	39,662	39,767
自己株式	△31,049	△22,481
その他の資本の構成要素	59,899	59,852
利益剰余金	381,893	365,503
親会社の所有者に帰属する持分合計	475,528	467,764
非支配持分	36,372	35,220
資本合計	511,901	502,984
負債及び資本合計	848,461	859,241

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	185,036	177,031
売上原価	117,980	116,570
売上総利益	67,055	60,461
販売費及び一般管理費	48,178	47,460
持分法による投資利益	3,186	3,017
その他の収益	252	254
その他の費用	459	427
営業利益	21,856	15,844
金融収益	1,383	1,512
金融費用	315	747
税引前四半期利益	22,924	16,609
法人所得税費用	5,957	4,792
四半期利益	16,967	11,817
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	15,873	11,219
非支配持分	1,093	598
四半期利益	16,967	11,817
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	52.46	38.37
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	52.13	38.11

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	16,967	11,817
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	△372	2,192
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△268	41
純損益に振り替えられることのない項目合計	△641	2,233
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	38	△8
在外営業活動体の換算差額	6,309	△473
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	2,782	△2,044
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	9,131	△2,526
税引後その他の包括利益	8,489	△292
四半期包括利益	25,457	11,524
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,755	11,386
非支配持分	2,701	137
四半期包括利益	25,457	11,524

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	25,122	44,054	△11,341	2,869	21,802	39	29,609
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	4,701	38	△372
四半期包括利益合計	—	—	—	—	4,701	38	△372
自己株式の取得	—	△17	△11,980	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△16	44	△27	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	42	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△3	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△4
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	4	△11,936	△27	—	—	△4
2024年6月30日 残高	25,122	44,059	△23,277	2,841	26,504	77	29,232

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2024年4月1日 残高	11,249	65,570	369,779	493,185	41,824	535,010
四半期利益	—	—	15,873	15,873	1,093	16,967
その他の包括利益	2,514	6,881	—	6,881	1,608	8,489
四半期包括利益合計	2,514	6,881	15,873	22,755	2,701	25,457
自己株式の取得	—	—	—	△11,998	—	△11,998
自己株式の処分	—	△27	—	0	—	0
配当金	—	—	△12,163	△12,163	△1,416	△13,579
株式に基づく報酬取引	—	—	—	42	—	42
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△3	3	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	268	263	△263	—	—	—
その他の増減	—	—	8	8	87	96
所有者との取引額合計	268	236	△12,418	△24,113	△1,325	△25,439
2024年6月30日 残高	14,032	72,688	373,234	491,827	43,201	535,028

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2025年4月1日 残高	25,122	39,662	△31,049	2,841	12,535	11	25,727
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△10	△8	2,189
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△10	△8	2,189
自己株式の取得	—	△11	△8,985	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	59	△40	—	—	—
自己株式の消却	—	—	17,493	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	116	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	104	8,567	△40	—	—	—
2025年6月30日 残高	25,122	39,767	△22,481	2,801	12,524	2	27,917

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2025年4月1日 残高	18,784	59,899	381,893	475,528	36,372	511,901
四半期利益	—	—	11,219	11,219	598	11,817
その他の包括利益	△2,003	167	—	167	△460	△292
四半期包括利益合計	△2,003	167	11,219	11,386	137	11,524
自己株式の取得	—	—	—	△8,997	—	△8,997
自己株式の処分	—	△40	△19	0	—	0
自己株式の消却	—	—	△17,493	—	—	—
配当金	—	—	△10,284	△10,284	△1,330	△11,614
株式に基づく報酬取引	—	—	—	116	—	116
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△174	△174	174	—	—	—
その他の増減	—	—	13	13	39	53
所有者との取引額合計	△174	△214	△27,609	△19,151	△1,290	△20,442
2025年6月30日 残高	16,606	59,852	365,503	467,764	35,220	502,984

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	22,924	16,609
減価償却費及び償却費	8,101	8,220
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△217	△111
金融収益及び金融費用	△994	△1,164
持分法による投資損益 (△は益)	△3,186	△3,017
固定資産除売却損益 (△は益)	82	27
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,460	△3,646
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	10,586	10,165
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△16,892	△7,294
その他	△5,789	△3,507
小計	8,154	16,282
利息及び配当金の受取額	1,807	2,840
利息の支払額	△315	△592
法人所得税の支払額	△7,965	△5,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,681	13,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△709	△1,805
定期預金の払戻による収入	3,113	4,064
有形固定資産の取得による支出	△17,942	△20,734
有形固定資産の売却による収入	83	12
無形資産の取得による支出	△160	△60
投資の取得による支出	△15	△2
投資の売却、償還による収入	8	12
その他	△1,950	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,573	△18,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	22,913	△5,930
コマーシャル・ペーパーの純増減額	—	40,000
長期借入れによる収入	—	1,600
長期借入金の返済による支出	△559	△460
自己株式の取得による支出	△11,998	△9,045
配当金の支払額	△12,163	△10,284
非支配株主への配当金の支払額	△1,416	△1,330
その他	△1,446	△999
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,669	13,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,147	921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,413	9,201
現金及び現金同等物の期首残高	96,659	73,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,245	82,237

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当連結会計年度より、報告セグメントごとの業績を適切に反映させるため、グループ関連費用の配賦方法を変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度において適用した会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	53,363	10,751	25,462	23,072	41,981	16,458	171,088	13,947	185,036	—	185,036
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	407	1,754	238	59	29	679	3,169	10,772	13,942	△13,942	—
計	53,770	12,506	25,700	23,131	42,011	17,138	174,258	24,719	198,978	△13,942	185,036
セグメント利益 (営業利益)	8,353	1,046	2,901	1,584	5,307	1,332	20,525	3,951	24,477	△2,620	21,856
金融収益											1,383
金融費用											315
税引前四半期利益											22,924
その他の項目											
減価償却費及び償却費	3,618	526	673	763	849	703	7,134	958	8,093	7	8,101
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,186	3,186	—	3,186
資本的支出	4,647	311	1,765	669	6,774	748	14,916	2,782	17,699	—	17,699

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,620百万円には、セグメント間取引消去等△673百万円、グループ関連費用△1,946百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	52,940	11,635	26,154	23,743	33,380	16,689	164,544	12,487	177,031	—	177,031
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	293	1,476	212	31	12	761	2,788	11,679	14,468	△14,468	—
計	53,234	13,112	26,366	23,774	33,393	17,450	167,332	24,167	191,499	△14,468	177,031
セグメント利益 (営業利益)	7,566	1,316	2,728	1,414	2,259	1,311	16,597	2,594	19,191	△3,346	15,844
金融収益											1,512
金融費用											747
税引前四半期利益											16,609
その他の項目											
減価償却費及び償却費	3,724	468	694	753	824	735	7,201	1,013	8,214	6	8,220
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,017	3,017	—	3,017
資本的支出	5,215	501	789	2,235	6,514	1,393	16,650	1,564	18,215	△0	18,215

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,346百万円には、セグメント間取引消去等△987百万円、グループ関連費用△2,359百万円が含まれております。